

弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

vol.30

ニュース・レター

～あなたに寄り添い 共に生きる法律事務所～

CONTENTS

目次

2021.5.7

- 玉野支所設立10周年…………… P1
- 思いがけない時に、思いがけない場所で、思いがけない人と… P2
- 自己紹介…………… P2
- Challenge to change …………… P3
- 自己紹介…………… P3
- 県内初！互いに近所で助け合う新たな仕組み…………… P4

玉野支所設立10周年

玉野支所長の弁護士入口優（いりくちまさる）です。玉野支所は、2011年（平成23年）2月15日に設立し、10年が経過しました。それまでは、玉野市内には、法律事務所がなかったのですが、当法人の設立者の1人である水谷弁護士がかねてから玉野市内に法律事務所の開設を求めており、それが実現した形でした。私が玉野支所で勤務し始めたのは、2013年（平成25年）12月からで、玉野支所長に就任したのは、2017年4月からです。当初は、弁護士1名、事務員2名の3人の規模でしたが、現在は、弁護士3名、社会福祉士2名、事務員6名の計11人体制となり、大所帯となっています。私が玉野支所に来たばかりのときは、まだまだ、玉野市民やその周辺の地域の方々に、玉野市内に法律事務所があるということすら認知されておりませんでした。ですので、まずは、玉野市民に認知されるように！！と、広報活動をしました。玉野市社会福祉協議会とたまのネット懇という団体との共催で「たまのなんでも相談会」を定期的で開催して、玉野市内の各所で相談対応をしたことや、私自身、法テラス岡山や各種市役所の相談対応等もして、玉野市内に法律事務所があることの認知を広めていきました。また、当法人の柱である成年後見案件を通じて、各関係者との繋がりが増えて、それによる相乗効果で、玉野市内に法律事務所があることが認知されてきたと思います。ここで、玉野支所設立当時からの事務員さんが1人おられるのでインタビューしてみました。愛称「てんちゃん」と呼ぶことにします。



インタビューいかがでしたでしょうか。

まだまだ、法律問題で、困っている人々は沢山いると思いますので、今後も玉野市内及びその周辺地域の方々の支援に尽力していきます。

玉野支所長 弁護士 ^{いりくち} ^{まさる} 入口 優



入口：てんちゃん、勤続10年おめでとうございます。

てんちゃん：ありがとうございます。

入口：10年経ちましたが、この10年どうでしたか。

てんちゃん：いろんな事件に触れて勉強になりました。様々な事件が現実にあることが分かり、普通の会社ではこういう経験はできないので、貴重だなと思います。私も、少しでも困っている人々の助けになっているのであれば幸いです。

入口：メンバーも変わりましたよね。今は11人いますよね。

てんちゃん：想像できませんでした。昔は、人数も少なく寂しかったですが、今はたくさんいますし、楽しいです。

入口：てんちゃんも、皆さんもですが、相談者・依頼者の方々にも本当に丁寧に対応をしてくれています。いつもありがとうございます。今後とも、よろしくお願いします。

📌 思いがけない時に、思いがけない場所で、思いがけない人と 弁護士 さかた まさひろ 阪田 正大

はじめまして!令和3年1月から、津山支所で勤務を始めました阪田正大（さかたまさひろ）と申します。

出身は広島県尾道市で、高校卒業まで尾道水道が見える坂の上に住んでいました。興味を持った機械工学を学びたいと思っていたところ、思いがけず関東の大学に入学できました。幸いにも、誠之舎という地方出身者のための学生寮に入れてもらうことができ、大学も学年も異なる学生から様々な刺激を受けながら大学生活を送ることができました。その頃は、研究者になりたいと思っており、大学院の修士課程では新しくできた航空宇宙材料工学研究室に在籍していました。

しかし、就職する際、人々のお役に立てるよう、たまたま合格していた広島県の技術系職員となりました。広島県では、それまで学んだことのない上水道分野に配属されました。初めての勤務は、昼夜2交替制の浄水場で、水質検査をしたり、専用のコンピュータで水量を管理したりするというものでした。その後、本庁で水道施設の予算や更新計画を策定したり、東京にある研究機関で1年間勤務したり、広島県に戻って送水施設の設計をしたりしていました。

仕事の合間には、広島大学東千田キャンパスに通い、普通の大学生だけでなく様々な職業に就いている方々と楽しく学び、最終的にはマネジメント専攻博士課程後期で会計学研究室に所属し、無事に修了することができました。

そうして仕事を続ける中で、個々に寄り添ってお役に立ちたいと思うようになり、弁護士になるため仕事を辞めて福岡の法科大学院に通うことにしました。司法試験に合格するまで時間がかかりましたが、福岡で司法修習を受けながら、就職先を探していたところ、「あなたに寄り添い、共に生きる法律事務所」を理念とする岡山パブリック法律事務所にご縁をいただきました。

休日には、広島にいるときに始めたサッカー審判員(3級)や、福岡にいるときに始めたボランティア通訳(英語)のため、トレーニングをしています。

これまで、思いがけない時に、思いがけない場所で、思いがけない人と、思いがけない課題を、精一杯解決してきました。岡山パブリック法律事務所も、津山も、弁護士も初めてで、至らない点が多くありますが、精一杯解決して参りますので、あたたかく見守ってくださいますようお願い申し上げます。

📌 倉敷の駆け込み寺をめざして！ 社会福祉士 もりたに ふ き よ 森谷 扶公代

初めまして、倉敷支所で社会福祉士として勤務しております森谷扶公代（モリタニ フキヨ）と申します。早いもので入社して3年目を迎えました。入社した当初はまだ倉敷支所が開設しておらず笠岡から岡山本部へ往復3時間をかけ通っていました。それまで福山が活動拠点だった私はパブリックのPの字すら知らず、とにかく後見業務がしたくてたまたまハローワークの募集を見つけ採用して頂いたのが岡山パブリック法律事務所でした。今思えば本当に運が良くて神様は最終章で最高のステージを準備してくれていたんだなぁと感謝しています。

長い人生で、この方の元で仕事がしたいと思える上司との出会いは数少ないのではないのでしょうか。私にとって倉敷支所のボス井上弁護士との出会いはそんな数少ない出会いでした。施設の床に膝をつけて車椅子の方に挨拶をする弁護士を私は初めて見ました。周りが全員無理だと思っていた精神疾患の方の一人暮らし支援をサラッとやってのけ、攻撃的な被後見人にもまったく態度を変える事無く惜しみなく愛情を注ぎ続ける、そんな先生の姿勢に私は日々猛省し教えられる事ばかりです。社会福祉士よりも福祉職らしく弱い立場の人にはどこまでも優しく、権力には徹底的に立ち向かい、過去の栄光やバッジの上にあぐらをかく事なく決して偉ぶらない。弁護士としてはある意味変わっているのかもしれませんが、そんな先生のもとで働ける事を私は大変光栄に、そして幸せに思っています。

変わったボスのもとにはやっぱり変わった者が集うようになっているのが倉敷支所には最高のメンバーが集っています。あらゆる分野で精力的に活動している倉敷支所若きエース社会福祉士の森さん、私と事務局のSさんは同い年で仕事が趣味、二人とも旦那をほったらかしめとい優しい旦那さんの理解のもと平日は単身赴任で大好きな仕事に没頭中。「老いて働けなくなるまで一緒に仕事しようね」「うん、絶対約束ね!」などと女子高生のような会話を繰り返しているおばさん二人。入社5ヶ月目で既に一般事件も後見事件もバリバリこなしてしまう超優秀メタルファンの事務局Uさん、そして周りがわちゃわちゃしてようが決して動ぜず黙々と仕事をこなしてしまう冷静沈着頼れる主任さん、皆なサイコーの仲間です。ボスを筆頭に倉敷支所は熱く密かに燃えています。皆さま、是非一度遊びに来てください。

生涯現役が私の目標、人生はあっという間に終わってしまいます。これからも大好きな仲間と大好きな仕事を思う存分楽しみたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

Challenge to change

社会福祉士 みなみ ともこ 南 智子

令和2年5月1日より、岡山パブリック法律事務所 玉野支所で社会福祉士として勤務しております南智子（みなみともこ）と申します。

出身は広島県広島市。瀬戸内海の沿岸に実家があり毎日きれいな海を見ながら育ちました。大学は川崎医療福祉大学で医療福祉学部医療福祉学科（5期生）、ゼミでは当時まだ珍しい医療ソーシャルワークを専攻していました。卒業後は大阪市内の医療機関へ就職し、結婚～第2子が1歳を迎えるまでの12年間を大阪市内で過ごしました。その後育児には緑や自然の多い環境が良いと考え、主人の実家のある倉敷市へ転居しました。転居後は超急性期病院や訪問診療クリニック等で医療ソーシャルワーカーとして勤務して参りました。大学卒業後20年以上医療機関で働く中で、乳児から超高齢者まで沢山の患者・家族を支援して参りました。使う制度も世代や障害・難病などさまざま全てを理解しておく必要がありましたが、お一人お一人を支援出来る事に大変やり甲斐を感じていました。

成年後見人がついておられる患者様も時におられ、以前から成年後見の分野にも非常に興味がありました。40代半ばからの自分への挑戦という意味も含め、この度新たに成年後見という分野で私自身が培ってき福祉に関する知識と経験を生かしてみたいと考え転職させて頂きました。

岡山パブリック法律事務所は、特徴である3職種の連携が何よりの魅力です。それぞれの持つ知識や経験を持ち寄り3職種が同じ方向を向いてご本人を支援できる体制は大変貴重であると感じています。法人の理念も誠に賛同できるものであり、常に心に留め、実行に活かしたいと思えます。

最近の休日は自宅近くの美観地区を散策したり、所属しているウィンドオーケストラでホルンを演奏する事が多いです。他にも趣味は、ジョギングテニス、スポーツ観戦（野球・サッカー他何でも）、ビリヤード、読書、カフェ巡り、などです。ここ2年連続で2つミセスのコンテストにも出場し（14センチのピンヒールを履いてロングドレスを着てステージに立ちます）、女性としてもまだまだ挑戦を終わらせない、そんな一面も持つ私です。

大変充実した毎日を過ごさせて頂く中で、日々勉強も怠らず岡山パブリック法律事務所に貢献出来るよう尽力して参りたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

自己紹介

社会福祉士 きばやし ひろこ 木林 裕子

令和3年2月より春日町本部で勤務しております、木林裕子（きばやしひろこ）と申します。出身は静岡県浜松市で、ヤマハやカワイなど、名立たる楽器メーカーが立地する”音楽のまち”です。私自身も音楽は大好きで、高校生まではピアノを習っていたので、趣味・特技ピアノとしていましたが、あれから十数年。今はまともに弾けるかどうかわかりません。息子が少し大きくなったら、一緒にピアノを習に行きたいなと楽しみにしています。

地元静岡で介護の短大を卒業後、岡山の福祉系大学に編入し、社会福祉士を取得しました。短大在学中は、介護を学びながらも、もともと目指していた教師への再挑戦を考えたり、違う医療系の専門学校への進学を考えてみたりと、自分の将来に迷っていた時期でした。そんな時、短大で出会った先生に、介護を学んだ2年を無駄にせず、同じ福祉の立場で、また違う世界を学んでみたらどうかと背中を押してもらい、社会福祉を学ぶ道を選びました。編入後の2年間は単位取得に追われ、大学院進学後は、アルバイトせずに学業に専念する2年間にして欲しい、という教授の言葉にこたえるように、大量の論文と難しい統計処理にまみれ、なぜか昼夜逆転の生活でぶくぶく太りました。（もちろん、その当時に蓄えたお肉は、現在もしっかり所持しております。）

そんな学生生活を終え、リハビリ病院に介護職として就職し13年。ひそかに思いつけていた、地域に出たい！といった思いが突然爆発し、まだまだ小さい子どもの育児真っ只中のこの時期に、今だ！と勢いそのままに転職を果たしました。

パブリックでの勤務を始めて3か月。慣れましたか？とみなさん優しく声をかけてくださるのですが、まだまだ学ぶべきことが多すぎて、全然慣れません。後見業務はもちろん、ソーシャルワーカーとしても新人ですので、日々遭遇する新たな出来事に右往左往しています。実は、人の名前と顔を覚えるのが苦手という、この仕事に向いていないのではと思ってしまう欠点も自覚しているのですが、それでも、人と関わることは大好きですので、関係機関先での出会い、もちろん後見業務での出会いも含め、様々な人との関わりを持てるようになった今、とても楽しく過ごしています。

最後に一言。後見業務で関わる全ての人が、心豊かに安心して生活できるよう、心に寄り添えるソーシャルワーカーを目指して精一杯頑張ります！

県内初！互いに近所で助け合う新たな仕組み

社会福祉士 もり りょうすけ
森 亮介

倉敷支所 社会福祉士の森です。倉敷支所の取り組みをご紹介します。

タイトルにある新たな仕組みの名は「互近助パントリープロジェクト」です。倉敷市社会福祉協議会（以下、社協）が事務局として運営しており、倉敷市内の各地にパントリーBOXを設置し利用者が身近なところへ出向いて物資を受け取ることができるという仕組みです。

この取り組みの趣旨としては、地域の機関や人がつながりあえること、そして生活に困った方の頼れる先にもなれるというものです。

専門職のいる事業所、民間の会社、一般の地域住民の方など幅広い方が参画しています。それぞれができることを（得意なこと）を発揮し、つながってシェアしていくネットワークとなっています。

この取り組みの背景には賞味期限が近づいて店頭に出せない物を抱えたスーパーさん、それを一手に引き受けてしまうと社協としても在庫を抱えるスペースがない、困っている利用者に随時届けるマンパワーには限界がある、取りに来てもらうにも倉敷市は広すぎて要望に応えきれないといったことがありました。これらの課題解決のために主体的に関わりたいという思いで倉敷支所としても参画させていただいています。BOXを受け取ってからは支所のメンバーで協力し、物資を取りに来られた利用者の対応にあたっています。すでに新聞などのメディアで知った方々が数名利用され、地域にニーズがあるのだと感じています。



通常業務の中でも、一般相談や担当の被後見人の方が今日明日の食料に困られるケースってありますよね？そういった場合にも活用することができます。倉敷支所では互近助パントリーの相談機関としても登録しており、今後他の登録団体からの相談も考えられます。

得意なことはそれぞれ違います。物資を置くスペースがたくさんある人、話を聞くのが得意な人、子育てに関する相談が得意な人など様々です。お互いの得意なことをかけ合わせながらこのプロジェクトの一員としてできることを発揮していきたいと考えています。

弁護士法人 岡山パブリック法律事務所

- 春日町本部…〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 TEL：086-231-1141 FAX：086-803-3677
- 後見センター…〒700-0905 岡山市北区春日町5番6号 TEL：086-206-5410 FAX：086-803-3677
- 津山支所…〒708-0062 岡山県津山市京町73-2 丹沢ビル2階 TEL：0868-31-0035 FAX：0868-31-0036
- 玉野支所…〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目17番5号 サニーセブンビル202 TEL：0863-33-6113 FAX：0863-33-6115
- 岡山南支所…〒702-8022 岡山市南区福成3丁目6番22号 TEL：086-230-7355 FAX：086-230-7356
- 倉敷支所…〒710-0815 倉敷市日吉町442番地11 ファインヴィラ101号室 TEL：086-441-1536 FAX：086-441-1537

【福祉職の皆様へ】・・・無料相談のご案内

福祉職の皆様からの福祉的支援に関するご相談はいつでも無料です。

後見センター TEL(086)206-5410
FAX(086)803-3677